

基本的な情報収集

- ・ 行 動 を 見 る 視 点

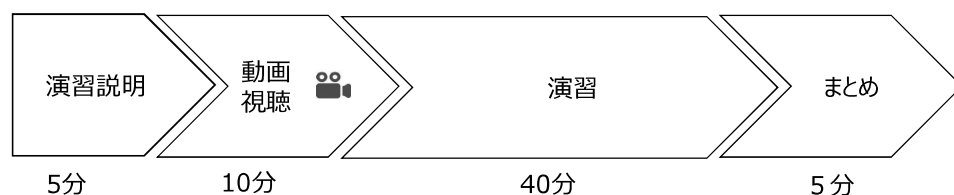
1

この時間で学ぶこと

- ・ 強度行動障害で困っている人の行動は、立場や状況によって様々な定義をすることができます。
- ・ 本当に困っているのは本人であることを確認します。
- ・ 本人の困難感には障害特性が関連しており、関連する行動に注目して情報収集することで本人の情報処理のつまずきに気づくことが出来ることを確認します。
- ・ 本人の特性を把握し、適切な環境を提案することが有効な支援のヒントになります。

2

この時間の流れ




- 動画を見ながら、講師と一緒にどのような行動に注目すべきかを確認していきます。
- 行動チェックシートの使い方を学びます。

行動を見る視点の大切さ

- ここまでの講義で、強度行動障害の状態にある人たちは、自分の気持ちをうまく訴えられない特性があることを学びました。
- うまく訴えられない人たちのことを理解するためには、行動が手がかりになります。
- 行動をきちんと観察することで、本人の訴えたいことだけでなく、障害の特性を理解することにもつながります。
- ここでは、具体的な行動をどんな視点で観察したらよいかを学んでいきます。

田中さんの事例

- 田中さんの基本情報の確認
- 動画の視聴 

演習 | 行動に注目する

「行動チェックシート（アセスメント演習用）」を使って、行動の注目の仕方について学んでいきましょう。

行動チェックシート（アセスメント演習用）

	※	✓	本人の具体的な行動
社会性	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
	イ: 人や車などの関係に難しさがあ		
	ロ: 人との関わりが一方的であることが多い		
	ハ: 相手の気持や関係に気づく		
	ニ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを真まきりにして一人で進んで行く
状況の理解が難しい	ホ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしていない様子がない
	ヘ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	()
コミュニケーション	ヒ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声だけでは次の行動に移れない
	フ: 言葉で指示されたこと通りに行動する	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
	ク: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーア）	✓	()
	ケ: 行動や仕事などで自分の気持ちを表現する	✓	()
	コ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	サ: 言葉はあっても自分の気持ちを表現することができない		
	セ: やりとりがスムーズでない		
想像力	ソ: やりとりがスムーズでない	✓	ヘルパーの声にはエコーアで答えるだけ
	タ: 想像に基いて行動したり、想像に基いて行動する		
	チ: やることが多いときや、行動に基いて行動する		
	リ: 自分から動くことができない	✓	横に動かすだけで、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
	ロ: 予定の変更に対応することが多い		
物の一部に対する強い興味	ハ: 自分ルールを定めて行動することが多い		
	ニ: 日課が定まると行動することが多い		
	ホ: 活動を進んでやり、変更することができない	✓	()
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
感覚が敏感または鈍感	ロ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヘ: 特定の物などにこだわりの執着がある	✓	水へのこだわりがある

社会性の特性

社会性の特性について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い	
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	


	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い	
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	
コミュニケーション	理解が難しい	ア: 言葉で伝えられても行動できない	ヘルパーの声を聞いても自分の行動に動かない
		イ: 言葉で伝えられても行動できない	
		ウ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコー）	
	状況の理解が難しい	エ: 行動や言葉など自分の気持ちに関係なく行動する	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	
認知力	状況の理解が難しい	ア: 言葉で伝えられても行動できない	ヘルパーの声を聞いても自分の行動に動かない
		イ: 言葉で伝えられても行動できない	
		ウ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコー）	
	状況の理解が難しい	エ: 行動や言葉など自分の気持ちに関係なく行動する	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	
身体	状況の理解が難しい	ア: 言葉で伝えられても行動できない	ヘルパーの声を聞いても自分の行動に動かない
		イ: 言葉で伝えられても行動できない	
		ウ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコー）	
	状況の理解が難しい	エ: 行動や言葉など自分の気持ちに関係なく行動する	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	

7

例えば
このような行動に注目します

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い	
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	

社会性の特性

・動画を見てみましょう 

9

コミュニケーションの特性

コミュニケーションの特性について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	ア: 言葉で指示をしても行動できない	✓ ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓ ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓ ()
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓ ()
		カ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない	
		キ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	
	やりとりが難しい	ス: やりとりが合わない	
		セ: やりとりが続かない	✓ ヘルパーの声かけにはエコーリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある	

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	ア: 視線が合わない	✓	本人の視線が合わない
	イ: 人の視線が自分に向いてくると不安になる	✓	ヘルパーが視線を向けてもヘルパーの視線が合わない
	ウ: 相手の視線を避けるように行動する	✓	ヘルパーも視線を向けて一人で歩いて行く
	エ: 周囲に比べて行動できない	✓	ヘルパーも視線を向けて一人で歩いて行く
	オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
	カ: 危険や危険、社会的ルールに関する行動をする	✓	()
	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
	ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	()
	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	()
コミュニケーション	カ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	キ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	ス: やりとりが合わない		
	セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声かけにはエコーリアで答えるだけ
	ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
知覚力	ア: 自分で意思決定することができない	✓	自分で意思決定することができない
	イ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	ウ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	エ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	オ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	カ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	キ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	ク: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	ケ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
	コ: 自分で意思決定することが多い	✓	自分で意思決定することが多い
感情	ア: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	イ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	ウ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	エ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	オ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	カ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	キ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	ク: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	ケ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()
	コ: 特定の感情を表現する、特定の感情を表現する	✓	()


10

例えば このような行動に注目します

		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	()
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	()
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声かけにはエコーリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

11

コミュニケーションの特性

- 動画を見てみましょう 

12

想像力の特徴

想像力の特徴について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている	✓ 柵につかり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		チ: 自分から動くことができない	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い	
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い	()
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い	
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓ 水へのこだわりがある
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある	

	例	✓	本人の具体的な行動
想像力	人々の感情や態度に敏感である	ア: 周囲が合わない	✓ ヘルパーが話しかけるとヘルパーの気持ちが良い
		イ: 人との関わりが一方通行で居ることが多い	
		ウ: 相手の感情や態度に敏感に行動する	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲が何を言っているかわからない	✓ ヘルパーも聞き取れないので一人きりで待つ
		オ: 周囲が何を言っているかわからない	
		カ: 周囲が何を言っているかわからない	
	理解が難しい	ク: 周囲が何を言っているかわからない	✓ ヘルパーが何を言っているかわからない
		ケ: 周囲が何を言っているかわからない	
		コ: 周囲が何を言っているかわからない	
	状況の理解が難しい	サ: 周囲が何を言っているかわからない	✓ ヘルパーが何を言っているかわからない
		シ: 周囲が何を言っているかわからない	
		ス: 周囲が何を言っているかわからない	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている	✓ 柵につかり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		チ: 自分から動くことができない	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い	
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い	()
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い	
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓ 水へのこだわりがある
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある	

13

例えば
このような行動に注目します

	例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている	✓ 柵につかり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		チ: 自分から動くことができない	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い	
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い	()
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い	
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓ 水へのこだわりがある
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある	

14

想像力の特徴

・動画を見てみましょう 

15

感覚の特徴

感覚の特徴について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
感覚 感覚が敏感または鈍感	ア: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	()
	ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き (基本情報より)
	ニ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないよという行動がある	✓	()
	ホ: 著しい偏食、刺激の強い味を好み、同じものばかり食べる、など行動がある		
	ヘ: 特定の臭いを嫌がる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
	ボ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

	例	✓	本人の具体的な行動
注意 注意が集中しにくい	ア: 周囲が気にならない	✓	へんぱーの声しかきいていない(へんぱーの音も聞かない)
	イ: 人と距離が近いと不快になることがある		
	ウ: 相手に話しかけられずに行動する		
	エ: 周囲に合わせずに行動することが多い	✓	へんぱーも聞き流して一人で遊んで行く
	オ: 周囲の状況に対して興味をもちない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
	カ: 危険な状況、社会のルールに関係なく行動する	✓	()
コミュニケーション コミュニケーションが苦手	キ: 言葉を聞き取れない	✓	へんぱーの声しかきいていない(周囲の音も聞かない)
	ク: 言葉を聞き取れたとしても理解できない	✓	へんぱーの言葉も聞いていない(へんぱーの言葉も聞かない)
	コ: 相手の言葉をそのまま繰り返す(エコー)	✓	()
	サ: 行動が相手によって変わることが多い	✓	()
	シ: 言葉を聞き取れたとしても理解できない		
	ス: 言葉を聞き取れたとしても理解できない		
想像力 想像力が強い	タ: 想像力が強い	✓	へんぱーの声しかきいていない(周囲の音も聞かない)
	チ: 想像力が強い	✓	へんぱーの言葉も聞いていない(へんぱーの言葉も聞かない)
	ツ: 想像力が強い	✓	()
	テ: 想像力が強い	✓	()
	ト: 想像力が強い	✓	()
	タ: 想像力が強い	✓	()
感覚 感覚が敏感または鈍感	ア: 周囲が気にならない	✓	へんぱーの声しかきいていない(周囲の音も聞かない)
	イ: 人と距離が近いと不快になることがある		
	ウ: 相手に話しかけられずに行動する		
	エ: 周囲に合わせずに行動することが多い	✓	へんぱーも聞き流して一人で遊んで行く
	オ: 周囲の状況に対して興味をもちない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
	カ: 危険な状況、社会のルールに関係なく行動する	✓	()

16

例えば このような行動に注目します

		例	✓	本人の具体的な行動
感覚	感覚が敏感または鈍感	イ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	()
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	()
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

17

感覚の特性

- 動画を見てみましょう 

18

行動に注目すること

- この後の演習では、「水遊びを止められて自傷をする」という田中さんの行動について、その背景を探っていき、必要なサポートを整理します。
- しかし、水遊びや自傷だけに注目するのではなく、田中さんがさまざまな苦手さをもっていることに気がつきましたか。
- 検討すべき行動を探すためだけでなく、特性に気づくためにも客観的な観察が必要です。

19

まとめ

本人の行動は「困っている」サインかもしれません

■本人の行動をヒントに

■特性に気づき

■適切な支援を組み立てていくことで



支援も本人の活動も成功しやすくなります

20